

思

～市立小・中学校卒業式～

い出と希望を胸に新たな道へ

小・中学校の卒業式が、3月13日に中学校、3月22日に小学校で行われ、小学校280人、中学校284人が卒業。卒業生たちは、先生や在校生、保護者、地域の方など多くの人に見送られ、多くの思い出が詰まった学び舎にそれぞれ別れを告げました。

知覧中学校では、卒業生代表の西垂水さくらさんが、「さまざまなことを学び、経験し、私たちは心も体も大きく成長しました」と3年間を振り返り、それぞれの進路に進む希望や、保護者や先生への感謝を伝え、在校生へもエールを送りました。



▲多くの人に見守られて新たな道を歩みだす知覧中学校卒業生 76 人。



宮脇小学校では、札内俊弘校長が「中学校でもしっかりと目標を持ち、本気になって努力を積み重ね、自分の成功につなげていってほしい」とはなむけの言葉を送りました。卒業生は、将来の夢とこれからの目標を力強く発表して旅立ちました。



▲先生や在校生たちに別れを告げる宮脇小学校卒業生 16 人。

お

～J A津軽みらいりんご贈呈式～

いしいりんごありがとう！

3月2日、J A津軽みらいの工藤友良組合長らが市役所知覧庁舎を訪れ、りんごの贈呈式が行われました。この贈呈は、子どもたちの食育のため平成21年から始まり、今回も市立幼稚園の園児、小・中学校の児童生徒たちに、約3600個のりんごが贈られました。贈呈式では、子どもたちを代表して知覧小学校6年生の永谷夢来さん、中山和奏さん、坂上采佳さんがりんごを受け取り、おいしいりんごへのお礼を述べました。



▲工藤組合長（後列右から2番目）からりんごを受け取り、笑顔の子どもたち（前列左から永谷さん、中山さん、坂上さん）。

第

～開運夢通り商店街～

1 回開運夢通り博覧会

3月24日、川辺町の開運夢通り商店街で、第1回開運夢通り博覧会が開催されました。商店街には多くの昭和の写真が展示され、軒先市や昭和歌謡ショーなどもあり、懐かしさを感じさせる商店街を来場者は楽しんでいました。また、豪華賞品が準備されたダルマさんが転んだ選手権や、カライモもちのもちつき体験と振る舞いも行われ、親子で楽しいひと時を過ごせたイベントとなりました。



▲博覧会で開催されたたるまさんが転んだ選手権。さまざまなイベントを来場者は楽しみました。

2

～第10回南九州市茶業振興大会～

2020年全国大会の成功を誓う

2月7日、市茶業振興大会が知覧文化会館で開催されました。スローガン採択では、「2020年に本市で開かれる全国お茶まつり鹿児島大会で、知覧茶を国内外に発信する」と力強く宣言し、「全国茶品評会での日本一獲得を目標に総力を結集しよう」と氣勢を上げました。



▲約400人の来場者の前で決意表明する茶業青年部の皆さん。

を国内外に発信する」と力強く宣言し、「全国茶品評会での日本一獲得を目標に総力を結集しよう」と氣勢を上げました。

昨

～第9回南九州市フラワーコンテスト～

年より多くの花で賑わう

2月23日、颯娃農村近代化センターで、市フラワーコンテストが開催され、切り花部門とフラワーアレンジ部門あわせて85点が出品。市長賞には福留誠さんが選出され、山下尚志さん、岡村盛文さん、朽木雅美さん、利田正明さん、浜田きみ子さんが特別賞を受賞しました。



▲入賞した12点が“道の駅川辺やすらぎの郷”に展示されました。

さんが選出され、山下尚志さん、岡村盛文さん、朽木雅美さん、利田正明さん、浜田きみ子さんが特別賞を受賞しました。

幼

～南九州市立幼稚園のあり方検討委員会～

幼稚園のあり方に答申書提出

3月1日、南九州市立幼稚園のあり方検討委員会から、今後の市立幼稚園のあり方についての答申書が提出されました。教育委員会では、この答申を受けて、今後の幼稚園についての基本方針を策定する計画です。なお、答申書は、市ホームページに掲載しています。



▲有馬教育長に答申書を手渡す加治木達哉委員長（右）。

を受けて、今後の幼稚園についての基本方針を策定する計画です。なお、答申書は、市ホームページに掲載しています。

南

～県無人ヘリコプター飛行技術競技大会～

九州市農業公社が県大会優勝

3月9日、農業散布などの技能を競う県無人ヘリコプター飛行技術競技大会が、川辺町の三豊ゴルフ場で開催。23チームが出場し、技能取得5年以上の部で市農業公社の大倉野慎・東耕太組が見事優勝。5年未満の部では小湊祐也・秋田哲志組が3位と好成績を挙げました。



▲競技大会の様子。風の影響を考慮しながら正確な操作技術が求められます。

部で市農業公社の大倉野慎・東耕太組が見事優勝。5年未満の部では小湊祐也・秋田哲志組が3位と好成績を挙げました。

創

～キクナガ薬局より120万円の寄付～

業120年の節目に感謝を込め

3月9日、キクナガ薬局（知覧町郡）の菊永玲子さんから、市の出産・子育て支援に対し120万円の寄付がありました。公衆衛生向上の功績による厚生労働大臣表彰も受けた菊永さんは、「創業120年や表彰は地域の皆さんのおかげです。ご恩返しに役立ててほしい」と話しました。



▲厚生労働大臣からの表彰状を手に持つ菊永玲子さん（左）。

表彰も受けた菊永さんは、「創業120年や表彰は地域の皆さんのおかげです。ご恩返しに役立ててほしい」と話しました。

百

～山口豊さん～

歳おめでとうございます

3月9日に100歳のお誕生日を迎えた山口豊さんのものを市長が訪問し、祝金と花束を贈呈して祝福しました。当日は、同じ施設で生活されている妻のヨシ子さんと並んで、子どもさん方、施設の入居者の方や職員など大勢の方にお祝いされていた。



▲従軍経験を経て、目立ての仕事で生計をたてられていたとことで丈夫な体をお持ちのようです。

ヨシ子さんと並んで、子どもさん方、施設の入居者の方や職員など大勢の方にお祝いされていた。

自

～第9回子どもノンフィクション文学賞～ 身の体験談で特別賞受賞

北九州市文学館が主催の子どもノンフィクション文学賞で、青戸小3年の折尾皇明さんが選考委員特別賞を、青戸小学校が学校団体賞を受賞。折尾さん



▲表彰楯を手にする折尾皇明さん。勉強だけでなく空手や書道もがんばる3年生です。

は作品の中で、「心を込めてお茶を作る両親を見て、将来、自分も飲む人が笑顔になるお茶を作りたい」と語っています。

川

～颯娃町鰻種苗採捕組合ウナギの放流～ の資源を豊かに保つ

3月12日、颯娃町鰻種苗採捕組合が、颯娃町御領の馬渡川でウナギの放流を行いました。同組合は毎年、資源増殖のために放流活動を行っています。九



▲ウナギを放流する九玉小の皆さん。濱田茂久組合長は「この思い出を大切にしたい」と話しました。

玉小学校6年生の児童たちは、初めて生きているウナギに触れ、歓声を上げながらウナギの成長を願い放流しました。

ポ

～第17回塗木菜の花まつり～ ニーが告げる春の訪れ

3月11日、知覧町塗木自治会内で塗木菜の花まつりが開催。恒例のポニーレースは全12レースに31頭が出場し、コースを駆け抜けるポニーに多くの来場者が



▲多くの来場者が声援を送ったポニーレース。

声援を送っていました。また、中央保育園児による太鼓や颯娃高校吹奏楽部の演奏もまつりに花を添えました。

お

～春のうんまかもん市～ いい特産品が大集合

3月18日、南九州市特産品協会主催の春のうんまかもん市が、道の駅川辺やすらぎの郷で開催されました。知覧茶、さつまいも、かわなべ牛など、さま



▲もちのふるまいも行われ、多くの来場者に喜ばれました。

ざまな地元特産品の販売や、もちつき体験、お茶の飲み比べなどのイベントがあり、多くの来場者で賑わいました。

茶

～中原タネさん～ 寿おめでとうございます

3月31日に108歳のお誕生日を迎えた中原タネさんへ祝金を贈呈しました。あいにくタネさんは直前にけがをされたため、長男の章策さんやご家族が代理で受け



▲長生きの秘訣は親から丈夫な体をもったことだそうです。

取られ、本人に届けられました。裁縫の仕事で家計を支えられたそうで、楽しそうに当時の話を聞かせてくださいました。

百

～松田シヅさん～ 歳おめでとうございます

3月25日に100歳のお誕生日を迎えた松田シヅさんのもとを市長が訪問し、祝金と花束を贈呈して祝福しました。料理が好きで、味噌やちまき、しょうゆまで手作りさ



▲次男春雄さんをはじめとする子どもさんがいらっしやる中、入所者のみなさんの拍手でお祝いされました。

れるなど、厳しくもあたたかいシヅさん。現在は施設で生活されていますが、ご家族の支援のもと、健康に過ごされています。